

「短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2013-12」、
「同2014-02」、「同2014-03」、「同2014-04」

単位型投信 / 海外 / 債券

早期償還について

作成基準日：2014年11月28日

「短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2013-12」、「同2014-02」、「同2014-03」、「同2014-04」の4ファンドにつきましては、平成26年11月初旬に、基準価額が早期償還を前提とした安定運用への移行を開始する水準である「11,000円」に達しましたので、以下の通りご報告いたします。

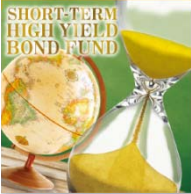
■「短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2013-12」、「同2014-02」、「同2014-03」、「同2014-04」

短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付)	早期償還決定日 (安定運用移行開始日)	2014年11月28日		早期償還予定日
		基準価額(円)	基準価額(円)	
2013-12	2014年11月6日	11,056	10,771	2014年12月15日
2014-02	2014年11月4日	11,047	10,878	2014年12月9日
2014-03	2014年11月7日	11,024	10,758	2014年12月15日
2014-04	2014年11月7日	11,008	10,765	2014年12月15日

基準価額(1万口当たり)は、信託報酬控除後のものです。
上記は、あくまで過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。

■安定運用への移行について

1. 保有する米ドル建資産に対しては、基準価額が11,000円に到達後、速やかに為替ヘッジを実施し、為替変動リスクの低減をはかる運用を行いました。
2. 安定運用への移行中、保有債券売却前のハイ・イールド債券市場全体の下落と個別銘柄要因による一部の債券価格の下落、また保有債券売却時の売却コスト負担などによって各ファンドの基準価額は下落しました。
3. 保有債券につきましては、流動性やボラティリティ(価格変動性)等に留意しながら慎重に売却を進め、現地11月26日時点で実質的に売却を完了しております。今後の基準価額の推移に関しましては、安定運用に移行したことから、信託報酬等の費用負担による影響を除き、安定化が見込まれます。



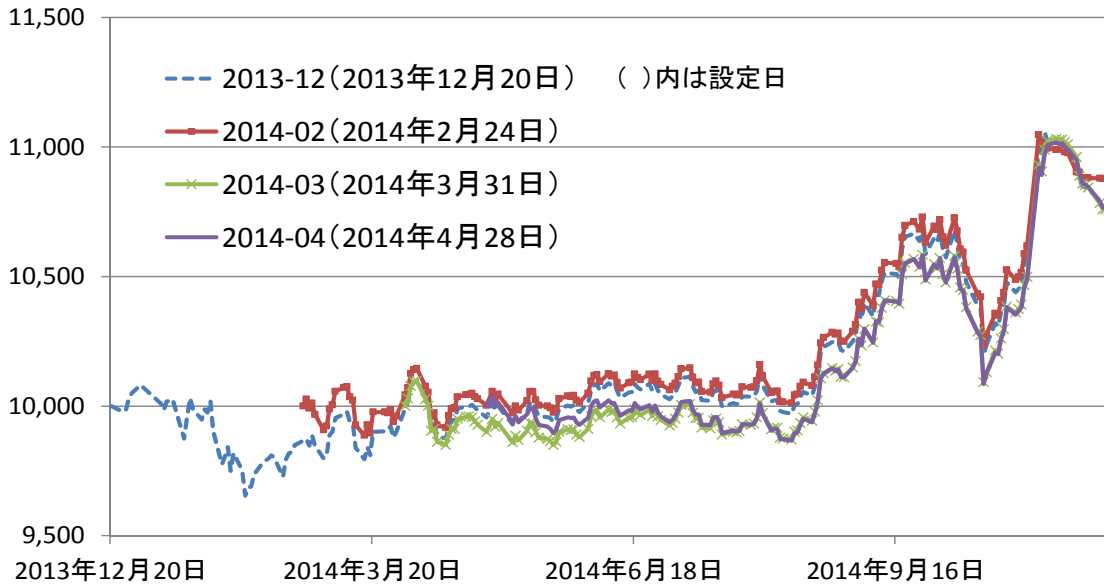
「短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2013-12」、
「同2014-02」、「同2014-03」、「同2014-04」

単位型投信 / 海外 / 債券

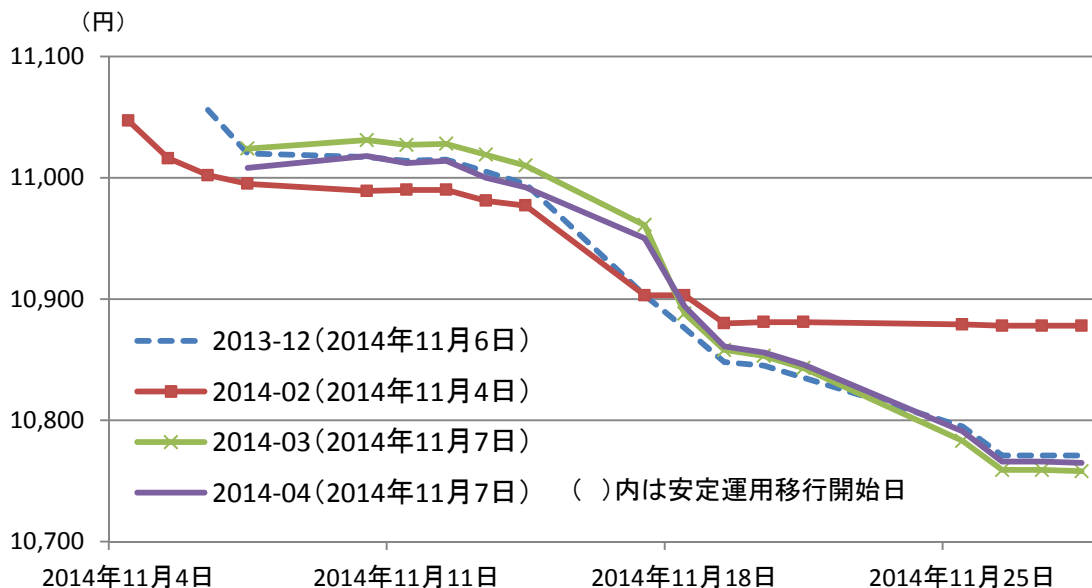
早期償還について

作成基準日：2014年11月28日

■「短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2013-12」、「同2014-02」、
「同2014-03」、「同2014-04」の設定日から作成基準日(2014年11月28日)までの基準価額の推移
(円)



■「短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2013-12」、「同2014-02」、「同2014-03」、
「同2014-04」の安定運用移行開始日から作成基準日(2014年11月28日)までの基準価額の推移
(円)



基準価額(1万口当たり)は、信託報酬控除後のものです。
上記は、あくまで過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。

本件に関するお問い合わせ先

国際投信投資顧問株式会社 電話番号0120-759311(フリーダイヤル)

(受付時間は委託会社の営業日の午前9時~午後5時)